

誰もがいつまでも楽しめるニュースポーツ。このコーナーでは、さまざまなニュースポーツの魅力を紹介します。

今月のスポーツ SSピンポン

SSピンポンは、2015年に三重県で誕生したスポーツで、生涯の「S」とスポーツの「S」を取って名付けられました。

枠が付けられた卓球台を使って、ネットの下を通過するようにボールを転がしながら打ち合います。音の出るボールと打音が出るラケットを使用することで、障がいの有無に関わらず、誰でもプレーできます。ユニバーサルスポーツとして、今では全国で親しまれています。



競技のここが楽しい!

簡単にプレーできますが、ボールが跳ねないようにスピードのあるボールを打ったり、コースを狙ったりする技術が必要で、高い競技性があります。

健常者と障がい者が一緒にプレーでき、交流のきっかけになっています。



スピーディーな動きが必要なため、知らず知らずのうちに、良い運動になっていますよ!



三重県SSピンポン協会
くろだ のりこ
黒田 智子 さん

市内では、鈴鹿SSピンポンクラブが、毎月2回程度練習を行っています。詳しくは、鈴鹿市社会福祉協議会地域福祉グループ(齋木 ☎373-5750)へお問い合わせください。

ひとまち・モータースポーツ

来年から「F1日本グランプリ」が春開催に

鈴鹿サーキットでのF1日本グランプリが、春開催(2024年4月5日(金)~7日(日)予定)になることが発表されました。1987年の初開催以来、秋に設定されていた日程が大きく動くことになり、このことはレースの見どころにも大きな変化をもたらすと思われます。

F1は、毎年ニューマシンを投入して戦います。ドライバーの移籍などもあり、各チームが新体制で臨むことから、ドライバーの速さ、車体、パワーユニット(エンジン+モーターからなる動力源)の仕上がりなど、シーズン序盤はさまざまな要素が未知数です。

このため、第4戦に予定されている日本グランプリは、波乱の展開や意外なドライバーの活躍なども予想され、新たな魅力が創り出されるかもしれません。さらに春という季節感が大会を華やかにさせ、時期的には桜の期待も生まれます。

“春のF1日本グランプリ”が、新たな鈴鹿の歳時記に加えられることを今から期待するばかりです。



▲現在、新名神・鈴鹿PAで展示中(11月末日まで)の、1987年に中嶋悟さんが駆ったロータス・ホンダ99T

なかのよしげ

■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

キーボード

「普通に考えたら、〇〇でしょ」会話の中でよく使われる言い回しです。これまでにこの言葉を使ったことがない、と言うと嘘になりますが、私はこの言葉をなるべく使わないように気を付けています。

なぜなら、他人がその言葉を言う度に、「その“普通”はその人にとっては当たり前のことでも、価値観が違う人にとっては、“普通”とは限らない」と思うからです。

今回の特集で人権を取り上げるに当たり、住み良い社会にしていくためにはどうすれば良いか、たくさんの方の意見を聞きました。皆さんの共通した考えは、自分の考えや価値観にとらわれず相手を認め合うことが大切であるということでした。

多種多様な人が暮らすこの社会で、自分の価値観だけが“普通”と思わずに、他者を尊重し、思いやる心をもちたいものです。(由)